

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 受託開始日 2026年6月12日(金) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード (旧項目コード)	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
OOM65 7 (OM65 2)	JCウイルス DNA 定量	髄液 0.7	ARR (r)	凍結 (28日)	4~10		PCR (リアル タイム PCR)	検出せず (コピー/mL)	 検出限界は200コピー/mL、定量限界は500コピー/mLです。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。 £



● JCウイルスDNA 定量

リアルタイムPCR法により脳脊髄液中のJCウイルスDNAの定量値を報告いたします。

JCウイルス（JCV）はポリオーマウイルス科に属するDNAウイルスで、多くの人が幼少期に不顕性感染し、その後は腎臓や血液細胞などに潜伏感染するとされ、成人の抗体保有率は70～80%との報告があります。JCウイルスは免疫機能の低下に伴い再活性化し、中枢神経に感染して進行性多巣性白質脳症（progressive multifocal leukoencephalopathy：PML）の原因となります。

PMLは脳の白質に多発性の脱髄病変を生じる疾患で、麻痺や認知障害、言語障害など多彩な神経症状を呈し、進行性で予後不良とされています。診断においては、脳脊髄液中のJCウイルスDNAをPCRで検出することが重要であり、非侵襲的に病原体の存在を確認できるため、PMLの診断補助として有用とされています。

本検査は、リアルタイムPCR法により脳脊髄液中のJCウイルスDNAの定量値を報告いたします。

▼疾患との関連

進行性多巣性白質脳症（PML）

▼関連する主な検査項目

サイトメガロウイルス核酸定量
EBウイルスDNA 定量
BKウイルス核酸定量

▼検査要項

検査項目名	JCウイルスDNA 定量
項目コード (旧項目コード)	OOM65 7 (OM65 2)
検体量	髄液 0.7 mL
容器	ARR (r) 滅菌ポリスピッツ
保存方法	必ず凍結保存してください
所要日数	4～10 日
検査方法	PCR (リアルタイムPCR)
基準値 (単位)	検出せず (コピー/mL)
報告範囲 *1 (単位)	検出せず、判定不能 5.0 X10*2未満 5.0 X10*2 ～ 4.5 X10*6 4.5 X10*6< (コピー/mL)
桁数	有効2桁、整数1桁、小数1桁
検査実施料	
判断料	
備考	重 検出限界は200コピー/mL、定量限界は500コピー/mLです。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。

£

*1：4.5 X10*6は、4.5 X10⁶を示します。

●参考文献

Pal A, et al：J Virol Methods 135 (1)：32～42, 2006. (検査方法参考文献)

Cortese I, et al：Nat Rev Neurol 17 (1)：37～51, 2021. (臨床的意義参考文献)